



発行所
氷川神社社務所

〒166-0003

東京都杉並区高円寺南4-44-19

電話 03-3314-4147

FAX 03-3315-0034

<https://koenji-hikawa.com/>

発行責任者
松井 美加子



高円寺氷川神社

本社神輿誕生



高円寺氷川神社本社神輿

〈高円寺氷川神社本社神輿誕生にあたり〉

今夏、高円寺日氷川神社に本社神輿が誕生します。先般、高円寺北一丁目町会から大切な神輿をご奉納賜り、その神輿を浅草の宮本卯之助商店様が見事に修復して戴きました。8月8日(木)に本社神輿は生まれ変わった姿で氷川神社に戻ってきました。ここに至るまでは、多くの課題がありました。関係者のご理解、ご協力を戴きつつ一つずつ乗り越えることができました。改めて全ての関係者に御礼を申し上げます。

本社神輿の誕生に際して、今夏「神幸祭」を斎行致します。新しく生まれ変わった本社神輿が高円寺の街を巡幸をします。氏子青年会を中心に神幸祭委員会を発足し、日々準備を進めています。神幸祭の運営、本社神輿の巡幸も初めての事で、知らないことが多く、話せば話すほど課題も出てきますが、有識者のアドバイスを戴きつつも「高円寺氷川神社」の色を出した神幸祭にしたいと考えています。神幸祭当日まで準備に追われることとなりますが、令和元年、御代替わりと記念すべきこの年に本社神輿を巡幸することができるとに感謝して、また一人でも多くの氏子の皆様に本社神輿を見て戴くために最大限の準備を施して神幸祭当日を迎えたいと思います。

本社神輿を担ぐ大切な役割として「担ぎ手」を募ってききましたが、当初の見込みを大きく上回り、200人を超える方々に御参加戴くことになりました。また神輿の行列隊形も定まりました。総勢300人近い行列となります。参加者皆様が無事に楽しく担げるように、またそれぞれの役割を楽しめるように神社側もバックアップしていきたいと思っております。

神幸祭に関わる全ての皆様のご活躍を祈念申し上げます。今後とも宜しくお願い申し上げます。



令和元年八月吉日

高円寺氷川神社 宮司

松井 美加子



令和元年8月、高円寺氷川神社に本社神輿が誕生しました。

記念すべき御代替わりの年に、本社神輿を持つ。——この思いがけない慶事が実現するまでには、氏神様の導きを思わずにいられない、いくつもの素晴らしいご縁がありました。

神輿を奉納いただいたのは、氷川神社の氏子地域の一つである北一丁目町会です。50年以上にわたり神社境内で眠っていた町内神輿が、氷川神社の本社神輿として蘇るまでの軌跡を、ここにご紹介します。

半世紀にわたり眠っていた、高円寺の至宝

高円寺氷川神社の境内には、氏子地域の町会が持つ神輿を保管するための神輿庫があります。そこには十の町会がそれぞれ所有する十基の神輿が一行に並び、お祭りの時期になると、各自の町内を巡行し、再び戻ってきます。しかし、一隅に置かれたひととき大きな神輿だけは、一年中、埃をかぶったまま動くことはありません。それが、北一丁目町会の神輿でした。

北一丁目町会は戦前から文化人、著名人を輩出する住宅地として栄えた、高円寺のなかでも長い歴史を誇る地域です。かつては地域の安全と発展を祈願するお祭りも盛大に行われ、人々は競ってあの大きな神輿を担ぎ、町内を練り歩いていました。しかし、昭和30年代に入ってから高齢化が進み、神輿の担ぎ手が減少。いつしか神輿は神輿庫にしまわれたままになり、実に半世紀以上もの時が経過したのです。

しかし、神輿は忘れ去られたわけではありません。「このまま神輿が朽ちてゆくのは、神様に申し訳が立たない」——そんな歯がゆい思いを、北一丁目の人々はずっと抱えていました。とりわけ強い使命感を抱いていたのは、町会長を務める高田芳作氏。少年時代にあの神輿の担ぎ手を経験した高田氏には、「あの神輿に、もう一度日の目を見せてあげたい。そしてまた昔のように、この町に活気を与えてほしい」という宿願がありました。とはいえ、老朽化した神輿の修復、担ぎ手の確保といった課題を前に、町内神輿の復活は難しい状況でした。

「新元号元年」を期に、神輿修復プロジェクトが始動

高円寺神輿修復の機運が一気に高まったのは、平成30年のことでした。「御代替わりが行われ、新元号元年を迎えるという歴史的な慶事に合わせ、神輿の復活をできないか」という北一丁目町内会の想いと、平成30年に代替わりを経て就任した氷川神社新宮司の「氷川神社として、高円寺のためにできることがあれば積極的に貢献したい」という想いが合致。北一丁目町会の総会にて、神輿庫に保管されたままになっていた北一丁目の神輿が、氷川神社の本社神輿として奉納されることが決定、また氷川神社氏子総代会においても北一丁目町会神輿の奉納を受けて本社神輿とすることを決定しました。氷川神社にとってもまた、本社神輿を持つことは先代宮司以来の長年の悲願。高円寺随一の由緒を誇る北一丁目の神輿以上に、初の本社神輿として相応しい神輿はありませんでした。

残る問題は、半世紀にわたり使われていなかった神輿の修復でした。翌年8月の例大祭に間に合わせるためには、残り9か月ほどで完成しなければなりません。ところが、浅草にある神輿製造の老舗・宮本卯之助商店(株)様に修復を依頼したところ、「修復には早くとも一年はかかる」とのお返事。古い神輿の修復には、漆を乾かす時間なども勘案し、通常それぐらいの時間がかかること説明いただいたのです。しかし、関係者一同が事情を説明してお願いした結果、私たちの神輿への想いが伝わったのか、最優先で修復いただき、何とか例大祭に間に合うこととなりました。

氷川神社の、そして高円寺の、新たなシンボルへ

宮本卯之助商店(株)様によると、神輿は昭和初期のもので、後藤直光神輿師の謹製とのこと。「江戸の三大神輿師」の一人・初代後藤直光から受け継がれた彼の技術は評価が高く、北一丁目の神輿に見られる彫りの深い精緻な彫刻は美術品として価値あるものです。修復完了の暁には、氷川神社の、そして高円寺の新たなシンボルとして相応しい、壮麗な姿を見せてくれるに違いありません。

これまで本社神輿を持たなかった氷川神社にとって、神輿と共に町を巡幸する神幸祭は初めての催しとなります。神幸祭は、神社の祭事として重要な意義を持つと同時に、高円寺のコミュニティを活性化するという役割をも担っています。「かつて北一丁目町内のシンボルだった神輿によって神幸祭が盛り上がり、若い人も含め多くの人に参加いただければ、それをきっかけに高円寺全体の結束も強化されるはず。地域の防犯や災害時の対応なども向上し、より暮らしやすい町作りに役立つと期待しています」とコメントをくださったのは、北一丁目町会長の高田氏。私たち氷川神社も、本社神輿誕生を期にいっそう氏子地域の皆様と想いを一つにし、高円寺鎮守の神社として、この町に密着した活動に取り組んでいきたいと思っております。

由井宮太郎さん
(氏子青年会・会長 / 神幸祭委員会・委員長)

～感謝～

以前、東京都氏子青年会の会長を引き受けていた頃、都内の幾つかの神社を訪問しました。ほとんどの神社の氏子青年会は、神輿の同好会から発展したり、神輿でつながっている氏子青年会が多くありました。高円寺氷川神社にも神輿があれば、という思いはずっとありました。

この度、北一丁目の高田会長の勇氣ある決断と松井宮司の熱い想いがつながり、本社神輿が誕生しました。令和元年、新天皇陛下即位の年に本社神輿を持てることに二重の喜びを感じます。本社神輿を軸に氷川神社の氏子が一つまとまり、神輿を担ぐ事が神社を担ぐ事になり、地元高円寺を担ぐ事につながることで、氏子青年会もこの機会に新たな気持ちで神社に又、地元で奉仕する、それが若者や子供たちによい影響を与えるのではないのでしょうか。

今月、第一回目の神幸祭が行われます。百年、二百年後に向けての第一歩です。この記念すべき神幸祭に携われたことは、誠に名誉なことであり、身の引き締まる思いです。

高円寺の鎮守氷川神社の弥栄をお祈り申し上げます。

大河原章雄さん(氏子総代責任役員)

～北一丁目神輿の奉納～

北一丁目町会の大人神輿は、非常に長い間氷川神社の神輿蔵に保管されたままでした。この度、関係者の皆様の努力で、本社神輿として立派に修復され、復活することになりました。先月、修理をお願いした浅草の宮本卯之助商店へ行き、進行状況を見ると共に、いろいろな神社のお祭りのしきたり等を伺って、遠い昔からの神事として、地元で据えつけた行事であることを再認識しました。

夏祭りといえば、神輿と太鼓の巡行ですが、北一丁目町会は商店街がなく若い担ぎ手が少なかったため、子供神輿と太鼓山車の町内巡行だけで、少々淋しい思いをしていたことは否めませんでした。お祭り当日、氷川神社に参拝した後、神輿蔵に安置されている北一丁目町会の大人神輿を見る度に、私が小学生の頃、北一丁目町会を練り歩いた姿を思い出していました。これからは本社神輿として高円寺氷川神社全域の皆様に見て戴くことを大いに期待しております。



北一丁目町会の高田芳作会長と氷川神社松井宮司

3

高田芳作さん(北一丁目町会・会長)

～本社神輿奉納と夏祭りの思い出～

終戦後まもなく、世の中も徐々に安定し始めてきました。

私にとっての夏休みの思い出と云えば、やはりお祭りでした。初めの頃は、太鼓山車を引っ張って町内を巡幸し、お土産を頂くのが何よりの楽しみでした。太鼓山車を卒業し子供神輿を担ぐようになり、お神輿の醍醐味が少しずつ分かるようになってきました。何時の日か大人神輿を担ぐのが夢でした。

当時は子供も大人も大勢いて、また背が低かった私はなかなか大人神輿を担がせてくれませんでした。一度だけ担ぐことができましたが、あまりにも重く肩にぐしりと食い込み、その感触は今でも鮮明に覚えております。

その後、時代の変遷により、少子化高齢化が進み、運用面を含め半世紀以上大人神輿は神輿蔵から出ることはありませんでした。この度、氷川神社様はじめ関係各位のご支援を戴き、立派に修復され、新しい令和の出発と共に、格式高き高円寺氷川神社本社神輿として奉納いたすこととなりました。

一抹の寂しさも感じますが、高円寺全体の平安と繁栄を祈念し、皆様と共に見守っていく所存です。

嫁ぎゆきいと寂し されど宮神輿

草深博好さん(北一丁目町会・前会長)

～氷川神社祭礼について～

祭礼について思い出しますのは、北一丁目の前会長である高橋さんと倉紡様の高円寺寮の中庭を祭礼の為に、お借りすべく、同社本社へお願いに行ったことです。その後、小生が会長に就任して氷川神社神輿庫に保管されている神輿を観て、その大きさに圧倒されたことを今でもよく覚えています。

令和元年の今年、氷川神社の本社神輿として生まれ変わり、出座することに感無量の思いです。この夏は忘れられない思い出になると思います。関係者の皆様、宜しく願い申し上げます。



関係者皆様より
高円寺氷川神社本社神輿誕生にあたり

～高円寺氷川神社 8月の行事予定～

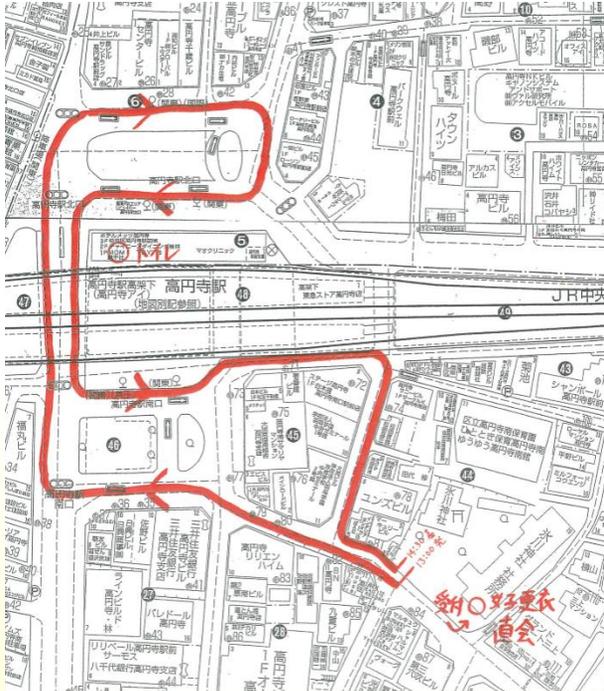
- ◆ 8月17日(土) 正午 本社神輿お披露目会(北一丁目町会神酒所)
16時 本社神輿お披露目会(氷川神社)
- ◆ 8月23日(金) 19時 本社神輿御霊移し(氷川神社にて)
- ◆ 8月24日(土) 9時～15時 各町会本社神輿お披露目会(詳細は下記)
- ◆ 8月25日(日) 10時 例大祭
13時～15時 神幸祭



令和元年 神幸祭概要

8月25日(日) 13時～15時

【本社神輿巡幸ルート】



高円寺駅の北口南口周辺の車道を本社神輿が巡幸します。大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

8月24日(土) 本社神輿が以下時間割で各町会神酒所を廻ります。是非お越しください。

- 09:00 南五丁目町会
- 09:45 南中央町会
- 10:30 氷川町会
- 11:15 北庚申文化会
- 12:00 北中央自治会
- 12:45 北二丁目町会
- 13:30 中通り町会
- 14:00 パル商盛会
- 15:00 緑ヶ丘町会

本社神輿町会神輿
各町会お披露目会



※時間は多少前後することがあります。



江戸消防記念会第九区の皆様

宮頭の紹介 (高円寺氷川神社本社神輿)

上野徹雄さん(本社神輿宮頭) ～高円寺氷川神社本社神輿誕生にあたり～

私は高円寺生まれ高円寺育ちの三代続く鳶職です。鳶職の頭たちは、江戸時代から本来の土木建築の仕事のほかに町火消の役割も担っていました。建物の構造を熟知している鳶が屋根に登り纏(まとい)を振り、放水ではなく建物を壊すことで消火したのです。そして享保3年徳川幕府八代將軍吉宗の時代、江戸の大火により地区ごとに町火消が誕生しました(いろは48組)。

鳶は建前、祭禮、婚礼などで木遣りを歌います。木遣りは、町火消の流れを汲む団体として創設された「一般社団法人江戸消防記念会」の会員によって、纏や梯子乗りと共に受け継がれ歌われています。また「江戸鳶木遣」は江戸の庶民が残した貴重な文化財として、東京都の無形文化財に指定されています。前回のリオオリンピックパラリンピックには東京都から招待され木遣り歌を伝統芸能として披露いたしました。

令和元年の新年会では宮司よりご指名いただき大変僣越ではございますが三本締めを行わせていただき、今回は氷川神社本社神輿お披露目にあたり氏子青年会会長と宮出しから宮入りを幾度も打ち合わせを重ねてきました。普段目にする事のない木遣りや修復された御神輿をたくさんの方に見ていただけるように当日まで協力していただける方と力を合わせていきたいと思っております。

御神輿渡御は、その町を守る神様が力を降り注ぎ厄払いができるといわれています。氷川神社で地元の本社神輿が作られる事で御神輿本来の意味を持ち、街全体の無病息災繁栄を見守り続けていただけることと思います。是非、8月25日日曜日13時より宮神輿、江戸消防記念会第九区七番組の木遣り歌を見にお立ち寄りください。祭礼についてお願い申し上げます。

本社神輿誕生にあたり、神輿の組み立て、担ぎ棒の設置などの大事な仕事を「宮頭」として氏子地域の上野徹雄さんをお願いすることになりました。神幸祭前に上野さんより一言戴くことができましたので紹介させて戴きます。上野さんのお言葉から、本社神輿誕生が改めて氏子地域にとって素晴らしいことであると再認識することができました。

宮本卯之助商店訪問

7月17日(水)に本社神輿関係者で宮本卯之助商店(浅草)を訪問しました。修復間近の神輿の様子を視察することで改めて本社神輿誕生の実感が湧いてきました。宮本卯之助商店の工房訪問で驚いたことは若い職人さんが多勢を占めていたことです。伝統ある職人技が次の世代へときちんと継承されていることがよくわかりました。

今回宮本卯之助商店には、神輿修復はもちろんのこと、本社神輿、神幸祭に関する仕来りや決まり事など多くの事を教えて戴きました。本当に感謝申し上げます。



宮本卯之助商店
工房内で

見事によみがえった
各パーツ



宮本卯之助商店は創業が文久元年(1861年)で主に御神輿、神社仏閣太鼓を中心に関種祭礼具の製造販売を行っております。

(株)宮本卯之助商店

住所：東京都浅草6-1-15
電話：03-3873-4155
※都内数か所に支店、太鼓館などがあります。
公式サイト：
<http://www.miyamoto-unosuke.co.jp/>



氷川神社の匠

其の九

昨年9月より開始した日々の境内清掃整備は順調に進んでおり、日々神社が清らかに変化していくことを実感しておりますが、それに加えて境内各所や備品などの修復、整備も並行して開始しました。金子さんと山本さんが中心となり、老朽化、損傷したものを丁寧に手作業で修復し、新たな命を吹き込み、また新たなものを作り出してくれてます。

今月紹介するのは「氷川神社看板整備」です。氷川神社の鳥居の右横には、氷川神社の木製看板がありますが、鉄柵に囲まれており参拝者が気づきにくいというお声を戴きました。今回鉄柵を除去し、看板や屋根を磨いて戴きました。そして夜間でもわかりやすいように照明も設置して戴きました。

鉄柵が取れた後は看板が目立つようになり、多くの参拝者もこの看板を背にして写真を撮影している風景がよく見られるようになりました。引き続き各所の整備を地道に進めていきたいと思えます。

整備前



整備後



鉄柵を取り外し、看板、柱、屋根を丁寧に綺麗に磨き上げました

夏越の大祓 齋行

6月30日(日)、夏越の大祓を齋行しました。

大祓とは人が知らず知らずのうちに犯した諸々の罪や過ち、心身の穢れを祓い清めるものです。大祓の「大」は「公」という意味があり、個人だけのものではなく、日本国中の穢れを払うという意味があります。大祓には「夏越の大祓(なごしのおおはらえ」と「年越の大祓」としこしのおおはらえ」があります。

当日は氏子総代、氏子青年会を中心に、一般の方々にもご参列戴きました。ご参加された方々、また人形に託された全ての方々の弥栄、健康を祈念申し上げます。



夏越の大祓参加者で記念撮影



夏越の大祓 奉納者芳名

順不同・敬称略

昨年比、奉納者が増えました。本日に有難う御座います

- 三上英子
- (株)ノグチ不動産 野口憲一
- 責任役員 渡辺忠司
- 責任役員 村田光紘
- 責任役員 大河原和雄
- さぬきや 近藤康浩
- 北庚申文化会
- 氷川町会
- 緑ヶ丘町会
- パール商盛会
- 氏子総代 江澤忠行
- 氏子総代 中里勝



総代会の後は懇親会にて意見交換を交わしました



氏子総代会を開催しました

7月25日(木)に氏子総代会を開催しました。8月は例大祭、神幸祭、各町会神酒所祓い、各町会本社神輿お披露目会など、行事が目白押しです。各行事について細かく協議をしました。

氏子総代の皆様は神幸祭神輿行列において統一の半纏、帽子、浴衣を着用することが決まりました。一方で神幸祭で本社神輿が巡幸するため、各町会行事日程を一部変更して戴くなど、ご迷惑をおかけすることになりました。最大限のご配慮、ご協力を戴いたことを忘れずに神幸祭を迎えたいと思います。

気象神社 (晴天祈願祭)

(株)グローブ新築ビル地鎮祭

杉並区神社総代会総会

気象神社では個人・法人向けの気象にまつわる様々な祈願祭を執り行っていますが、今回は毎年晴天祈願にお越しになる法人様を紹介したいと思います。

6月18日(火)、(株)瑞穂様が晴天祈願の為に御来臨されました。

(株)瑞穂は電子デバイス、高性能材料、情報機器、産業設備機器、プラントシステムを取り扱う技術商社ですが、今回は今年の夏が晴天に恵まれるようにと晴天祈願にお越しになりました。
この夏が好天に恵まれること、また関係者皆様の健康を祈念申し上げます。

(株)瑞穂の皆様



最近では企業様からの祈禱依頼が増えています。晴天祈願をはじめとする気象に関する各種祈願を承っておりますので、お気軽にご相談、お問い合わせください。



7月14日(日)に(株)グローブ新築ビル工事の地鎮祭に氷川神社として奉仕させて頂きました。

(株)グローブの代表取締役は女優の向井亜紀さん(高田亜紀さん)です。当日は高田延彦さんも御同席されました。新築ビルの建設場所は、北二丁目のあづま通り商店街沿いです。当日は北二丁目町会の槻木会長もお越しになりました。工事が安全に進み、無事に新築建物が完工し、そして何よりも工事関係者の健康、弥栄を祈念申し上げます。



向井亜紀さん
高田延彦さん



7月22日(月)に杉並区総代会総会に参加してきました。(於 大宮八幡宮)

この総会には杉並区の神職、それぞれの神社の氏子総代責任役員の方々が集まりました。総会を終えた後は、大宮八幡宮での正式参拝、懇親会と続きました。氷川神社からは氏子総代責任役員の渡辺忠司さん、村田光紘さんにご出席戴きました。
初めてお会いさせて戴く方々ともお話をさせて戴き、大変有意義な会となりました。



ご挨拶をされる青山亨さん



高南宝扇会による清掃植樹作業④

令和元年7月21日(日)



夏用の緑色のユニフォームがきれいです

日頃からお世話になっている高南宝扇会ですが、今年の4月から毎月第三日曜日に神社の清掃などを手伝って戴くことになりました。4月に始まって四回目の今回は花の植替えを行いました。4月、5月と合計40つのプランターに様々な花を植えて戴きましたが、7月の日照不足もあり一部の花は枯れてしまいました。今回は枯れてしまった約20つのプランターの花を植え替えました。夏に強い花を用意したので、この夏はしっかりと水を与えて、育てていきたいと思えます。毎月本当に感謝申し上げます。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

改めて宝扇会の皆様には感謝を申し上げます。

高風寺 コラボ高円寺(COLABO高円寺)の紹介



てきぱきと花の替えが進みました

社報「ひかわ」は先代宮司の故・山本雅道が刊行したもので、昨年帰幽されるまで長年に渡り発行されていましたが、体調不良もあり、平成29年9月発行の147号を最後に休刊となりました。しかし歴史ある「ひかわ」の灯を消すまいと昨年7月に再刊することを決意しました。昨年の宮司代替わり後の神社の活動を少しでも知ってほしい、氏子地域ニュースを一人でも多くの皆様にお届けすることを意識しながら作成してきます。昨年7月に148号を再刊した時は、2ページ、20部でしたが、この1年で神社に御縁がある方に集まるだけ配布するように取り組み、組んできた結果、現在毎月発行12ページの構成で氏子地域中心に700部を超えるようになりました。

しかし発行数が多くなるにつれて、社務所の複合機では印刷代が高くなってきました。そこで、普段から神社の判子、名刺などの制作をお願いしている、

野嶋奈央子さん(コラボ高円寺店主)

このお店を継いで5年目。毎日が忙しく、まだまだ力不足を感じながらも皆様のご協力のもと営業をしています。

高円寺の個性的な街や人にも愛着がわき、お客様が試行錯誤でアイデアを練って印刷物やハンコを作りに来てくれることが楽しみのひとつです。自分ができそうな事はなるべくなんでも受け付けるよう心がけていますので、お気軽にお問い合わせください！



「コラボ高円寺」様に相談したところ、コート紙中綴じにして戴き、さらに印刷代金の削減のご提案も戴きました。いつも迅速、丁寧な対応をして下さる野嶋奈央子様には本当に感謝申し上げます。皆様も是非ご利用戴ければと思います。



コラボ高円寺

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南3-58-13
TEL 03-5929-9028 FAX 03-5929-9029
E-mail colabo.koenji@gmail.com
◎ Twitter @COLABOKOENJI
◎ アメブロ <http://ameblo.jp/colabo-koenji/>

- 営業時間 月～金 10:00～19:00 / 土・日 11:00～17:00
- 定休日 火曜・祝日 (臨時休業の情報はツイッターでご確認ください)
- J R高円寺駅 南口から 徒歩2分

南口を出て右へ進みます。横断歩道を渡り、そのまま高梁沿いを阿佐ヶ谷方面へまっすぐ、やまどり大将2号店を過ぎてその先の左手にあります。ガラス張りの小さなお店です。



お店の外観と各種商品



真夏の夜のフラメンコ

(小松原庸子スペイン舞踊団創立50周年記念野外フェスティバル)



多くの観衆で埋め尽くされました



開会のご挨拶をされる小松原庸子さん



オレ!
Ole!
ステキ!

情熱的な音楽と迫る真な踊り

8月3日(土)に「真夏の夜のフラメンコ」(小松原庸子スペイン舞踊団主催)に参加してきました。(於日比谷野外音楽堂)

小松原庸子スペイン舞踊団は小路を挟んで氷川神社の目の前にあります。小松原庸子さんはスペイン舞踊における日本の第一人者です。スタッフの方々も含めて、長年に渡りお世話になっています。

先月までは悪天候が続きましたが、この日は雲一つない快晴に恵まれ(この野外イベントは半世紀にわたり開催されてますが、一度も雨天中止になったことはないようです)まさに「真夏の夜のフラメンコ」となりました。まさに盛会となり、改めて小松原庸子さんが皆様に愛されていることがわかりました。

改めて小松原庸子スペイン舞踊団創立50周年をお祝い申し上げます



暑い夜の開始です



小松原庸子さん

～猛暑の中のフラメンコ～

1971年から開催しております“真夏の夜のフラメンコ”、本年は50年来の猛暑、さすがに私も炎天下に大声を振り上げ頭もフラフラ。心配した舞踊団の体調もさすがに日頃厳しい稽古に鍛える者達、へばる事もなく、フィナーレで客席に降りた際には“暑さなんて感じなかった”“とても楽しかった”“来年もぜひ”との皆様の声に、舞台に生きる者への冥利に尽きるお言葉、胸がいっぱいになりました。

氷川様のご祭礼にはフラメンコを披露することとなり、情熱のフラメンコで高円寺を盛り上げる一端を担いたいです。これからも頑張ります。



小松原庸子さんの踊り



最後は観衆も全員で踊っての締めとなりました



★こうえんじん★
第二十話

氷川神社の運営に日頃から協力戴いている方々にそれぞれの想いを自由に語って戴きます。

題名の「★こうえんじん★」は「こうえんじ(高円寺)」と「じん(人)」を組み合わせた言葉(題名)です。

第二十話は三村建設(株)代表取締役社長を務めている三村義昭さんです。



みむら よしあき
三村義昭

三村建設(株)
代表取締役社長

「人の出会い」

先日、故山本雅道先代宮司の一年祭に参加させて頂きました。その時に「人の一生」について考えてみました。この一生は常に「運」と「根気」と「感」を背負って生きていくということ。

いつの間にか令和の時代になりました。私と山本雅道さんのお付き合いもとても長いものでした。私と山本雅道さんは高円寺中学で同級生でした。もう70年も前からの付き合いになります。この出会いが私の人生をより善きものにしてくれた運命の出会いとなりました。

当時、神社本庁に於いて青年部を立ち上げる運動がありました。花園神社

において当時の片山宮司と氷川神社の山本宮司は日本の神社界の将来を憂れう思いから神道時事問題研究会を立ち上げました。其の研究会は神社界だけでなく、政界、財界、学術界にも広がるものでした。特に全世界の宗教指導者、ヨハネパウロ2世、チベット仏教のダライ・ラマ14世、台湾の初代総統の李登輝にも謁見する機会を得られました。私の中の人生の中で、広く豊かな見聞を広めることとなりました。



ヨハネパウロ2世を囲んで記念撮影
(左から5人目が三村さん)



台湾の初代総統の李登輝夫妻と(夫妻の間が山本雅道先代宮司、後列左から9人目が三村さん)

また山本雅道さんと共に墨田川七福神巡りや1993年に行われた第61回伊勢神宮式年遷宮に氷川神社の氏子として参加できましたことは今でも山本雅道さんとの良き思い出になっております。山本雅道さんが他界されました後も、山本雅道さんと花園神社の片山先代宮司が最期まで続けた地道な宗教活動により、現在も神道時事研究問題、氷川神社氏子青年会が長きに渡り継続、発展されています。私も85歳という高齢になりましたが、微力ながら尽力いたす所存です。氷川神社が故人の遺志を継いで益々反映されることを願っております。

～神社より～

今月は内田さんと三村さんを紹介させて頂きました。内田さんの上京から今に至るまでのこと、そして義父様の氷川神社との関わりがよく理解できました。三村さんは先代宮司の同級生ということも多くのお話を聞かせて戴きました。神道時事問題研究会が神道の世界にとどまることなく、あらゆる分野、業界との接点が多いことに改めて驚きました。★こうえんじん★も20話を迎えることができました。これからも一人でも多く紹介していきたいのでご協力をお願い申し上げます。

自己紹介



氏名 : 三村 義昭(ミムラ ヨシアキ)
生年月日 : 昭和9年5月8日
出身地 : 東京都杉並区
血液型 : O型
趣味 : 神社巡り、美術鑑賞
特技 : ゴルフ
座右の銘 : 一生懸命、根気、運
高円寺お薦めスポット : 蚕糸の森公園
一言 : 健康に長生きしたい!



1993年の伊勢神宮式年遷宮にて

高南宝扇会 暑気払い

7月22日(月)に高南宝扇会の暑気払いに参加してきました。(於座高円寺) 美味しい食事や飲み物を取りつつ、会話や歌唱などを楽しみました。改めて高南宝扇会の皆様の日々のご協力に感謝申し上げます。



80名の参加者が集まりました



御挨拶をされる佐山会長

エルガーハウス (えいごであそぼう)

7月19日(金)に高円寺エルガーハウスの子供たちが氷川神社に来てくれました。エルガーハウスは高円寺を拠点に活動しているコミュニティです。まずは手水、参拝の作法などを一緒に学びました。その後は、境内で英語を使ったゲームなどを通じて交流を深めました。子供たちの笑顔を少しでも集められるように、できることは協力していきたいと思えます。



記念撮影
手水の作法



お参りの作法
えいごのゲーム

お知らせ

◆境内アスファルト工事

神社境内のアスファルトやコンクリートは老朽化が進んできています。毀損も激しく雨が降ると、水たまりができたり、段差もあり、改修が急務でした。今般、本社神輿蔵の完成に伴い、神輿蔵周辺と社務所玄関付近までのアスファルトを新設しました。このアスファルトは透水性に優れており、雨天時でも参拝者が神輿蔵に近づいて観ることができるようになりました。



見違えるようになります

透水性に優れたアスファルト

編集後記

ひかわ161号をお送りしました。長い長い梅雨が明けてからは一転猛暑の日々となりました。この8月は氷川神社にとって行事が目白押しとなりますが、氏子の皆様との協力の輪が広がっており、皆様のお力を戴きながらなんとか乗り切りたい気持ちです。本社神輿が誕生する節目の時期となります。皆様と楽しんで乗り越えていきます。

～令和元年例大祭～

日時 8月25日(日)
10時齋行
場所 氷川神社



※24日(土)25日(日)両日は、境内に露店が多数出店します。また神楽殿では奉納踊りが披露されます。是非お越しください。

◆令和元年例大祭
令和元年例大祭を左記のとおり齋行します。今年は例大祭終了後に神幸祭も齋行予定となります。